

○「プラン策定後の推進体制等を決める」

(京都府宮津市 金山地域活動 H31第1回)(上宮津地区連絡会議活動)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年6月17日(月) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市金山集会所
- 出 席 者: 細見推進委員
地元 6人、市 2人
※委員1人、委員以外8人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 中山間・多面的事業を実施。農地は一定、集積されているが、高齢化で高い畦の草刈りが困難に
- 小作料が高い。地域における土地利用は、原則、皆で決めることになっているが、実態は相対で押しつけ
- 耕作者は今以上に耕作地を増やすことができない。不作付け地がでると保全管理せざるを得ない



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの実施体制について
地主と耕作者参加のプラン確定会議の最後に、プランを推進する組織を設置することが決まり、それを受けての会議。同地区は、3集落からなるプランで、1地区2名の委員選出が決められていた
・名称「金山・小香河・古心地域京力農場プラン推進会議」に決定
・役員には、代表と副代表、庶務会計 を置くこととなり、人選も決まった
・事務経費は、多面的機能組織の支援を受けることとする
- 今後の取り組みは、まず研修。「緩やかな集落営農組織化への取り組み」がテーマに

4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援